

アスム療育・研修センター セミナー申込票

申込先FAX番号 0224-87-8221

(※送信時、番号をもう一度お確かめください。)

講座：自閉症の子どもたちからのおくりもの
発表者：柴田町内保育所 保育士 / コーディネーター：猪又初恵 (総合療育コンサルタント、臨床心理士) 岩沼市内保育所 保育士 / コーディネーター：片瀬 道 (総合療育コンサルタント、臨床心理士) 大宮 弘人(弊社代表取締役) / コーディネーター：猪又初恵 (総合療育コンサルタント、臨床心理士)
会場：仙都会館 (会議室 5F-A) 仙台市青葉区中央二丁目 2-10
参加費：お1人様：1,000円 (銀行振込みのみ ※当日の現金払いはお断りいたします)
定員：50名 (定員になり次第受付終了となります)

ふりがな		住所	〒□□□-□□□□
氏名		所属	○でお困り下さい 保護者 支援者 関係者 その他
電話番号			
FAX番号			
Eメール	※受付の連絡方法をEメールでご希望の方は、必ずご記入下さい。		
受付完了 連絡方法	○でお困り下さい TEL・FAX・メール・その他 ()	振込名義	※申込者と名義が異なる方は、必ずご記入ください。

お客様よりお預かりした個人情報は、アスム療育・研修センターからのご連絡・ご案内・各種資料の送付に利用させていただきます。また、これらの個人情報はご提供いただく際の目的以外では使用いたしません。

申込方法について

申込は、FAXまたはEメールで受付いたします。(ホームページからも申し込めます。) 申込から1週間以内にお振込みをお願いいたします。振込を確認した時点で受付となり、記載いただいた連絡先への通知をもって受付完了となります。(入金から3営業日を過ぎても入金完了の連絡が届かない場合は、弊社までご連絡ください。) 連絡先がない場合、受付をいたしませんのでご注意ください。FAXの場合、こちらの研修会申込票に必要事項をご記入の上、お申し込みください。メールの場合、infotop@assem-center.netに必要事項を入力してください。件名には、「研修会申込」とお書きください。本文には、「研修会名」、「氏名(ふりがな)」、「住所」、「連絡先」を記載してください。また、申込者と振込名義が異なる方は、必ず「振込名義」を記載してください。受講料は、銀行振込前払いのみとさせていただきます。(会場でのお支払いは、受付いたしません。) 振込は、開催日の前日確認分まで受付いたします。キャンセルの場合、開催3日前までの連絡に限り返金いたします。(手数料は、差し引かせていただきます。)

お振込先：七十七銀行 槻木支店(804) 普通 9101888 株式会社アスム療育・研修センター

株式会社アスム療育・研修センター

宮城県柴田郡柴田町槻木上町 1-1-71
TEL 0224-87-8220 FAX 0224-87-8221
infotop@assem-center.net
http://www.assem-center.com/

アスム 自閉症

検索



世界自閉症啓発デーに合わせた特別企画！弊社総合療育コンサルタントによる丁寧な解説のもと、保育・教育現場の実践から学びます。自閉症の支援が、どんな子にもあったらいいなの子育てや生活のヒントを示していることにあなたは気づくでしょう。

毎年4月2日は国連の定めた
世界自閉症啓発デー
発達障害啓発週間 4月2日～4月8日



支援者・保護者からの生の声を届けて

子どもたちもわかりやすいユニバーサルデザインの保育

自閉症の子どもたちからのおくりもの

主催 アスム療育・研修センター
後援 宮城県柴田町

自閉症支援のプロと支援者・保護者とのコラボ

日程

2017年4月15日(土) 10:00~12:00

会場

仙都会館 会議室 5F-A (仙台市青葉区中央二丁目 2-10)

発表者

- ・柴田町内保育所 保育士
- ・岩沼市内保育所 保育士
- ・大宮 弘人 (アスム療育・研修センター 代表取締役)

コーディネーター

- 猪又 初恵 (総合療育コンサルタント、臨床心理士)
- 片瀬 道 (総合療育コンサルタント、臨床心理士)

参加費

1,000円 (銀行振込みのみ ※当日の現金払いはお断りいたします)

定員

50名 (定員になり次第受付終了となります)

お問い合わせ

株式会社アスム療育・研修センター
電話 0224-87-8220 FAX 0224-87-8221
メール infotop@assem-center.net

アスム療育・研修センターは、自閉症に特化した支援のためのソーシャルビジネスの株式会社です。一般の方々におきましては、自閉症という言葉聞いたことがあってもよくわからない、というのが正直な印象かもしれません。しかし、今回のテーマである「ユニバーサルデザイン」という考え方を知ると、自閉症支援がより身近に感じられるはずです。ユニバーサルデザインとは、誰にとってもわかりやすいこと。つまり、障害がある人にもない人にも心地よい環境を提供することなのです。このことを私たちは自閉症の支援から学びました。共に生きる共生社会の実現を単なる呼び声で終わらせるのではなく、実効性のあるものにする重要なスタートラインとして、アスムはユニバーサルデザインの考え方を広めていきたいと思っております。保育所など、支援の最前線にいる先生方からの生の声をお聴きください。先生方の口から語られる言葉は何より私たちを納得させてくれることでしょう。今回、弊社がコンサルティングを行っている現場の先生方をゲストとしてお招きしての実践発表会を企画いたしました。「実際に支援を行うは、決して集団の場だけで必要な物ではありません。家庭の中で生かされるユニバーサルデザインについての実践もお聴きいただけます。なお、実践発表会終了後には相談会も予定しております。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

アスム療育・研修センター 代表取締役 大宮 弘人

誰もがわかりやすい環境ユニバーサルデザインを
実際の保育・教育現場から学ぶ実践発表会！

ユニバーサルデザインに彩られた生活…それは、自閉症のある方々との共生社会を目指すアスムからの提案です。 皆さんは、その考え方や具体例を知ること、自閉症の世界との懸け橋がそこにあることに気づくでしょう。 (ユニバーサルデザインとは、誰にとってもわかりやすく過ごしやすい環境を作り出すための考え方です。)

支援を必要とする子どもたちが全て障害をもっているとは限らない中、私たちにできることは一体何なのでしょう？

文部科学省の2002年全国調査で、通常の小・中学校に在籍する子どもの6.3%が「なんらかの教育的支援を必要とする」との数値が発表されました。しかしそれらに該当する子どもたちは、すべて障害をもっているというわけではないのです。ちょっとした苦手さや、生きづらさ・育てづらさをもっている子どもたちが決して珍しくはありません。そしてその存在に目を向ける必要があることは否定できなくなってきております。そこで私たちにできることは一体何なのでしょう？その答えのひとつが『ユニバーサルデザイン』なのです。では、ユニバーサルデザインとは何なのでしょう？駅の表示やペットボトルのラベル、シャンプーの容器等々…。ユニバーサルデザインは意外と身近なもので、実は皆さんも知らず知らずのうちにたくさん経験しているのです。「自閉症や発達障害って何か特殊なものでしょう？私達には関係ないよね…」とと思っている方も、ユニバーサルデザインを知ること、私達のいつもの暮らしに直結するヒントをたくさん見つけることができるのです。



写真：生活の中で目にするユニバーサルデザインの一例

アスムの療育部門と保育の現場や家庭からの発信とのコラボでお伝えする、『ユニバーサルデザイン』の実践発表会！

アスム療育・研修センター所属の総合療育コンサルタントが、出向している保育現場で日々繰り返されているコンサルティングの中、どの子にもわかりやすい保育の工夫の数々…。これらは、自閉症支援から導き出されたわかりやすさを追求する中から生まれました。そして私たちがいちばんお伝えしたいことは、「わかりやすさがもたらす最大の価値」です。それは、ユニバーサルデザインの環境では、子どもたちが自分で考え自分の力で取り組む姿を見せてくれるのです。自分でできる満足感に目を輝かせる子どもたちの様子を、ぜひ現場の先生方ご自身やご家庭からの発表でお聴きください。また、今回は弊社の総合療育コンサルタントが、現場での支援の意味を丁寧に紐解きます。ご家庭で、保育や教育の現場で、ぜひこの発表会での学びを活かしていただきたいと思っております。

共生社会の実現に向けて！自閉症スペクトラムに関わるすべての方々へ。

自閉症とは、コミュニケーション、社会性、感覚における困難さやこだわりをもつ障害です。しかしその障害特性は理解されにくく、不適切な対応をされることも少なくありません。アスム療育・研修センターは特性理解に基づき、一人ひとりに合ったオーダーメイドの支援をめざし、療育・研修・各施設に出向いてのコンサルティング(巡回相談)を行っています。なお、「障害」の表記について、通常は「害」の文字が否定的な意味合いをおびるために「障がい」と表記していますが、今回はより一般的なものとして「障害」としました。もっとも大事なことは、表記がどうあれ誰もが認められる共生社会の実現であることはいまでもありません。

講座内容

1. ユニバーサルデザインの保育・教育 ～「自閉症にわかる」は「みんなにわかる」

深く繋がる自閉症支援とユニバーサルデザインを、弊社総合療育コンサルタントが豊富な事例を交えてお話しします。
講師：片瀬 道（総合療育コンサルタント/臨床心理士）

2. 現場からの発信 ～弊社コンサルティング先及び保護者からの発表

◇柴田町内保育所 保育士「どの子にもわかりやすい保育」

コーディネーター：猪又 初恵（総合療育コンサルタント、臨床心理士）

子どもたちが自ら行動できる環境について、訪問先である柴田町内保育所の先生方は日々試行錯誤しています。今回は、保育所内におけるそうした取り組みのいくつかを代表して発表していただきます。
(担当コンサルタントより)



◇岩沼市内保育所「子どもの力を信じて」

コーディネーター：片瀬 道（総合療育コンサルタント、臨床心理士）

岩沼市の事業で年間を通して市内保育所のコンサルテーションを行っており、皆がわかりやすい保育に取り組んでいます。今回はその中の1クラスに発表を行っていただきます。
(担当コンサルタントより)



◇大宮 弘人「余暇支援に生きるユニバーサルデザイン」

コーディネーター：猪又 初恵（総合療育コンサルタント、臨床心理士）

我が子への余暇支援をする中で、「ユニバーサルデザインの有無」が余暇活動や将来の余暇への発展、さらには社会への参加を左右するということを実体験に基づいて発表していただきます。
(コーディネーターより)



3. 相談・質問コーナー ～弊社の主要事業について、相談ブースを設置します。

- 療育 : 子どもさんのことで困っていることやお悩みなどについて
- アカデミー : 自閉症やその支援についての学びなどについて
- コンサルテーション : 保育、教育、成人施設など組織としての支援上の悩みや人材育成などについて

アスムのアカデミー開講のお知らせ

アスム療育・研修センターは、支援者を対象としたアカデミーを開講します。自閉症の支援者として、「自分のスキルをもっとあげたい」、「もっと深く学びたい」、「自閉症のある人が見せる多様な姿それぞれへの対応力をさらに高めたい」そんな思いに応えるためのアカデミーです。アスムのアカデミーは、自閉症支援のスペシャリストを養成するための講座をご用意しています。受講する方々がその翌日から使える力を系統立てて身につけるために、演習重視、少人数制、体験型の学びをご提供します。障害特性を学ぶといった基本的な研修から、支援の具体的なコツが学べる必須スキル研修、さらには親支援や気になる子のとらえ方等々、研修として取り上げるテーマは多岐にわたります。いずれも、自閉症支援をする上で欠かせないことばかりです。アスムがアカデミーを通して、いちばん大切にしているのは『考え方』をお伝えすることです。私たちが目指す本当の意味での共生社会も、『考え方』が共有できてはじめて実現に近づくことができるのです。

アスムのアカデミーは、平成29年度開講予定です。